

平成30年4月25日

報道関係者各位

静岡県道路メンテナンス会議 事務局

「道路の老朽化対策」パネル展を開催します ～道路施設を次世代に引き継ぐために～

1. 概要

道路の橋やトンネル等の施設について、その現状や、永く安全に使うための定期的な点検や修繕の取り組みを皆様にご紹介することを目的に「道路の老朽化対策」のパネル展を開催します。

お子様向けにもわかりやすく老朽化対策の取り組みを紹介した「橋をまもる」パネルも展示します。

2. 開催場所

●場所：「道の駅」朝霧高原（静岡県富士宮市根原字宝山 492-14）

●実施時期：平成30年4月27日（金）～平成30年5月25日（金）

※詳細については、下記問合せ先へご確認頂きますようお願い致します。

3. 資料

別紙（パネル展の趣旨、今後の予定、パネル展一例、静岡県道路メンテナンス会議とは）

4. 配布先

静岡県政記者クラブ、富士宮市記者クラブ

5. 問い合わせ先

国土交通省 中部地方整備局 静岡国道事務所 副所長 やまだ ひろゆき 山田 裕行
総括保全対策官 おおた さとし 太田 聡

電話（054）250-8908 ファックス（054）250-8911

道路の異状を発見したら・・・道路緊急ダイヤル **#9910**（通話料無料・24時間受付）

○パネル展の趣旨

高度経済成長期に集中的に整備された道路施設は、急速に老朽化が進むことが確実で、その対策は喫緊の課題となっています。

道路は、国民の財産であり、少しでも長く使えるように、きめ細かい点検と修繕を行って次世代へ引き継いでいくことが必要と考えています。

一方で、多くの道路施設を管理する地方公共団体は、予算・人員・技術の面で課題を抱えています。

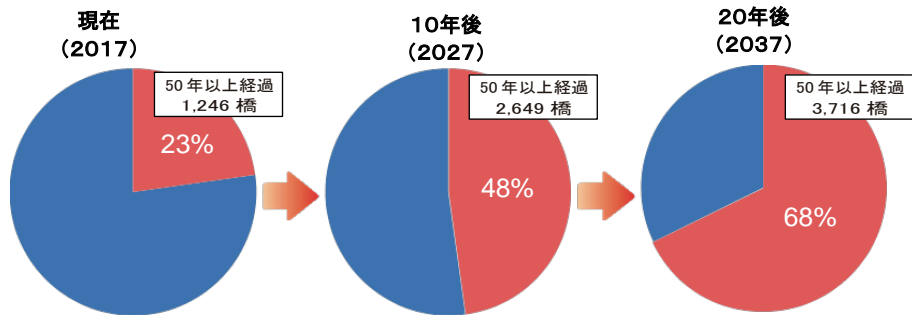
具体的には、中部地方整備局が管理している橋梁で、建設後50年以上を経過した橋梁の割合は、2017年3月現在23%ですが、今後20年後には68%まで急激に増加することや、厳しい日本の環境条件などにより橋梁が損傷している現状、また、点検方法や損傷の事例を紹介し、メンテナンス会議など道路管理者が連携している状況を紹介しております。

そのような道路施設が置かれている状況や道路の老朽化対策の取り組みについて、広く皆様にご紹介するためパネル展を実施いたします。

中部地方整備局の管理橋梁

(橋長2m以上対象、2017年3月末時点)

■ 建設後50年以上の橋梁
■ 建設後50年未満の橋梁



○パネル展実施予定（静岡県道路メンテナンス会議中部地域部会内）

設置場所（予定）	実施時期（予定）
「道の駅」宇津ノ谷峠	平成30年6月

○展示パネル（一例）

「道路の老朽化対策」パネル

3大損傷以外の多様な損傷原因

漏水・凍害・中性化による損傷

● 橋梁の損傷原因は、「漏水による腐食」「凍害によるコンクリートの割損」「コンクリートの中性化」など、さまざまである。

漏水による腐食(貯留部) | 漏水による腐食(支床)
凍害によるコンクリートの割損 | コンクリートの中性化

進む橋梁の高齢化

厳しい日本の国土条件

● 日本の国土は海に囲まれ、山脈が国土を分断、多雨・多湿の気候に加え、毎年、台風が来襲。
● 世界中でマグニチュード6以上の地震の約2割が発生する地震大国。
● そのため、橋梁等、高い防食性や耐風性、耐震性が求められる。

地震大国 | 多雨・台風 | 凍害・塩害

橋ってなんだろう？

橋は「きずな」

あれ？ 車の入りがおびえて、車の入を減らしているよ。

橋がないから、大きな川を渡るのしんどいじゃなかったって。

橋は、大昔から人と人をつなぐ「きずな」でした。橋ができて川の高さを渡るできるようになり人の行き来が盛んになると、くらしが豊かになり、いろいろな文化が生まれてきました。

橋をいためる3つの原因って？

海からの塩分

海に面した橋の下を見ると、いたみがひどいのがある。

コンクリートが空洞になって、鉄筋が錆びているよ。

これは塩害という状態です。海の塩分が溶け込んで、コンクリートに溶け込み、中の鉄筋が錆びます。そして、溶けだした鉄筋が空洞になり、鉄筋が折れるようにコンクリートが崩れます。

○「静岡県道路メンテナンス会議」とは

静岡県内の全ての道路管理者が連携・協力し、道路メンテナンスを推進するため、平成26年に設立され、点検の計画的な推進、自治体への支援等、様々な意見調整・情報共有を行い、継続的なメンテナンスサイクルの推進に取り組んでいます。

[構成員] 中部地方整備局（道路部、直轄事務所）、地方公共団体（静岡県、35市町村）、中日本高速道路(株)、静岡県道路公社